

6月・男女平等月間の取組み

アンコンシャス・バイアス 無意識の偏見に気づき 多様性を受容する職場・組合をつくろう

6月13日に男女共同参画セミナーを開催し、11組合21名の方にご参加いただきました。

第1部では、アパショナータ,Inc.代表のパク・スックチャ氏をお招きし、「無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)と男女共同参画」をテーマにご講演いただきました。講演では、「無意識の偏見」とは何か、どのような影響をもたらしているのか、について学びました。



▲グループワークの様子

第2部では、講演内容を踏まえ、「無意識の偏見がもたらす男女共同参画推進への影響」と「無意識の偏見への対応」について、3グループに分かれ、グループワーク・ディスカッションを行いました。最後に、各グループの代表者からディスカッションで出た意見について発表いただき、参加者全員で課題を共有するとともに、男女共同参画の推進に向けてそれぞれが取り組んで行くことを確認しました。



▲講演するパク氏

講演のポイント

- 「無意識の偏見」とは、自身が気づかずに、十分な根拠がなく持っている見方・考え方のこと
- 海外における多くの実験研究により、「無意識の偏見」が、組織や個人にネガティブな影響を与えていることが分かっている。女性は男性に比べて「女性」というだけで低く評価されていることも明らかになっている
- 「無意識の偏見」は誰もが持っている。それを自覚することが大切である
- 無意識だからこそコントロールすることが難しいことを理解したうえで、公平性と客観性を確保することが必要である
- 偏見を持っていることを認め、意識を高めて行動してほしい
- 労働組合には、誰もが尊重され受容される環境づくりを進めてほしい